

授業科目名	農村地域活用法			担当教員名	河本 大地	
科目区分		単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態
コース別専門科目	選択必修／選択	2	3・4	春学期	火・2	講義
授業概要						
<p>地域と関わっていくためには、<u>地域を見る目を養っておく</u>必要があります。</p> <p>この科目では、地域（特に、日本の大半を占める農山村地域）を知るうえで欠かせない基礎的知識を、事例や既存研究から学びます。そして、<u>地域資源の持続可能な活かし方</u>を考えます。</p>						
到達目標						
<p>農山漁村地域や多自然居住地域（以降、農村地域と略す）の状況や、今後の可能性と課題について、さまざまな見方・考え方を習得し、自分で説明できるようになる。</p>						
授業方法(展開)						
<p>毎回、文献(本の一部や論文、新聞記事など)を読み、それを出発点にして議論しながら、農村地域に関する基礎知識・概念を身につけていきます。</p>						
関連科目・知識・スキル						
<p>自然環境保全論、環境・グリーンツーリズム分野の科目、地域振興論、観光プロモーション論、自然地理学など</p>						
成績評価						
<p>☆成績評価は<u>ポイント制</u>です。</p> <p>☆基本的には、<u>各回の授業への貢献度とレポート</u>で評価します。最終試験は行いません。</p> <p>☆時々、配付資料等へのメモの充実度をチェックします。また、授業内容に関連する、セミナー、イベント、フィールドワーク、ツアー等への参加を奨励します。河本の調査研究科目（「食と神戸」がテーマ）で行うワークショップや映像鑑賞への参加も推奨します。これらはすべて、ポイントに加算します。</p>						
教科書・参考書など						
<p>資料は担当教員が用意し、参考書を随時紹介します。</p>						
履修上の注意事項						
<p>☆<u>環境・グリーンツーリズム分野の学生はなるべく履修すること</u>。</p> <p>☆「自然環境保全論」を取ってからの履修が望ましい。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

- 「農村」とは何か、農村地域の資源とは（1回）
- 「地域」とは何か ～「地域多様性」の発想を持とう～（2回）
- 農村空間の資源管理利用（2回）
- 農村地域の社会組織と経済活動（2回）
- 食料・農業・農村政策（2回）
- 「農」と人間／自然関係（2回）
- 自然・農村体験型観光の企画・運営（4回）

学生への一言

☆参加者の状況等により、一部の内容が変わる可能性がある。

☆授業前には深呼吸し、トイレはすませ、のびのびとした気持ちで積極的に参加しよう。

☆メモをしっかりとること。授業中は携帯を出さないこと。遅刻・早退厳禁。質問歓迎！

☆普段から、地域づくりに関する新聞記事や本を積極的に読もう。